

だいちくんのクラスでは、社会科の授業で、日本で働く人のさまざまな数値^{すうち}について、学習しています。

先生：日本の人口は現在、約1億2700万人います。

だいちくん：約1億2700万人は、世界全体では人口が多いのですか、少ないのですか。

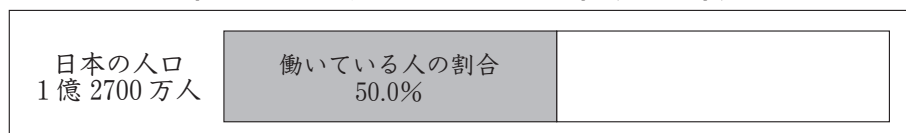
先生：日本の人口は、世界で10番目に多くなっています。世界には国の数が約200あるので、日本は、人口が非常に多い国であることがわかりますね。

みなみさん：それでは、日本で働いている人の数も約1億2700万人いるのですか。

先生：いいえ。生まれたばかりの赤ちゃんや、みなさんのように学校で勉強している人、病気で働くことのできない人、仕事をやめたお年寄りの方もいるので、約1億2700万人よりもだいぶ少なくなっています。グラフ1を見てみましょう。

なおとくん：日本で働いている人は、およそ半分なのですね。

グラフ1 日本の人口と働いている人の割合(2014年)



(2015/16年版「日本国勢図会」により作成)

(問1)

グラフ1の数を用いると、日本で働いている人の数は、およそ何人ですか。漢字などは使わず算用数字で書きなさい。

先生：次に、日本でどのような仕事についている人が多いのかを見てみましょう。その国でどのような仕事についているかを調べるときの方法として、産業別人口に分ける方法があります。表1を見てください。第一次産業は、おもに自然からものを得る産業、第二次産業は、おもに自然から得たものを加工する産業、第三次産業は、それ以外の仕事をふくむ産業となります。

ゆきえさん：日本ではどのような仕事についている人が多いのですか。

先生：表2を見てください。日本の産業別人口の持ちようを考えるために、表2には、いくつかの国の産業別人口の割合をのせています。日本と比べる国は、アメリカ合衆国^{がっしゅうこく}、インド、ガーナです。各国の位置は、地図^{ちず}を見てください。

だいちくん：アメリカ合衆国と日本の産業別人口の割合が近く、インドとガーナの産業別人口の割合が近いようですね。

先生：そうですね。日本とアメリカ合衆国は経済が発展^{けいざい はってん}した先進国、インドとガーナは経済が発展している途中^{とちゅう}という意味で発展途上国(開発途上国)とよばれています。表2をもとにグラフをつくってみると、そのちがいがわかりやすいですよ。ただし、日本ももともと発展途上国で、現在のインドやガーナのような産業別人口の割合だったのですが、しだいに現在の割合のように変化してきたのですよ。

表1 各産業にふくまれるおもな仕事

産業	各産業にふくまれるおもな仕事
第一次産業	農業, 林業, 水産業
第二次産業	鉱業, 製造業, 建設業
第三次産業	サービス業, 運輸業, 商業, 医りょう・福し

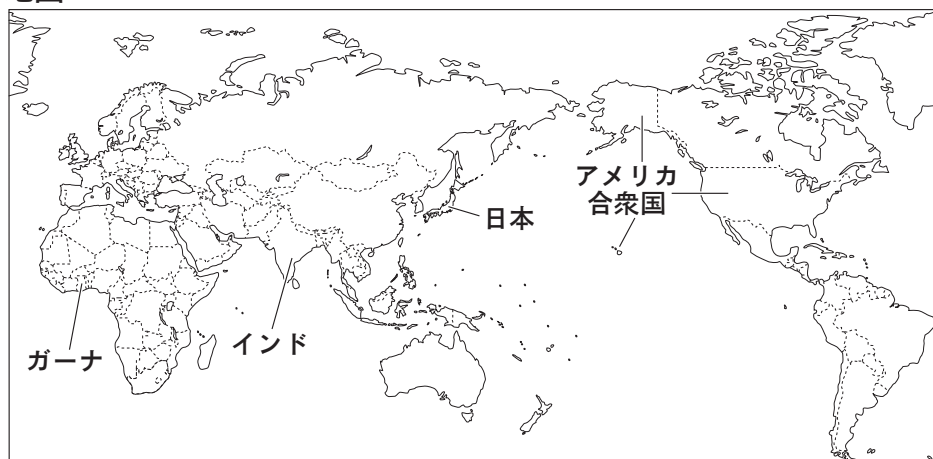
表2 おもな国の産業別人口の割合

国名	第一次産業(%)	第二次産業(%)	第三次産業(%)
日本(2013年)	3.8	24.9	71.3
アメリカ合衆国(2013年)	1.5	18.3	80.2
インド(2010年)	51.1	22.4	26.5
ガーナ(2010年)	41.5	15.4	43.1

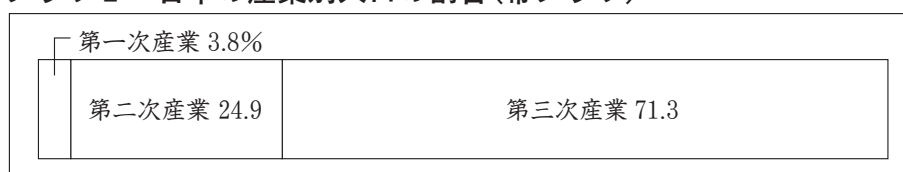
(注) 分類不能のものについては第三次産業にふくめている。

(2014/15年版「世界国勢図会」により作成)

地図



グラフ2 日本の産業別人口の割合(帯グラフ)



(問2)

グラフ2は、日本の産業別人口の割合を帯グラフにしたものです。同じように、表2をもとにインドの産業別人口の割合の帯グラフをつくり、解答用紙のグラフを完成させなさい。このときに、解答用紙のグラフには、「第一次産業」「第二次産業」「第三次産業」の言葉とそれぞれの割合も書きなさい。

(問3)

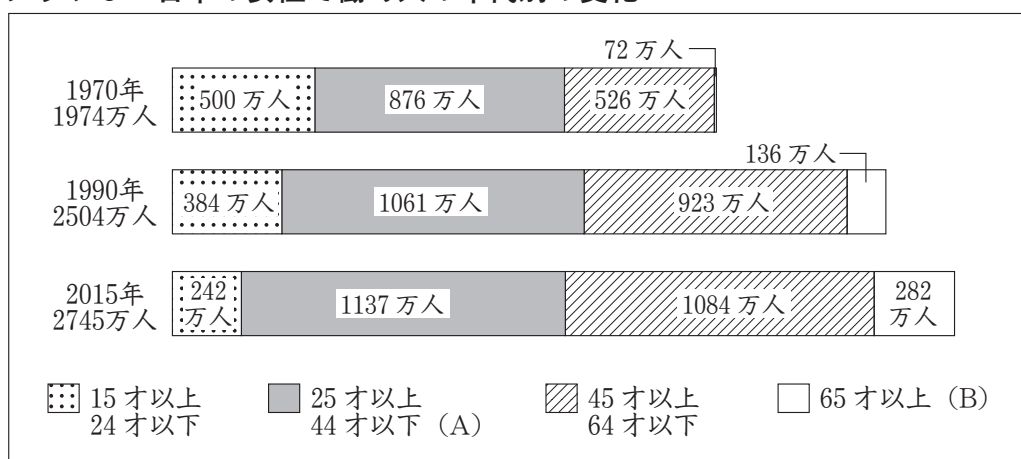
(問2)で解答用紙に作成したインドの帯グラフと、日本を表したグラフ2を比べたとき、日本の産業別人口の割合にはどのような特ちょうがあることがわかりますか。

先生：日本の人口は少しずつ減少が始まっています。働く人の数も、これから減少していき、日本の経済が悪くなっていくのではないかとされています。働く人の数の減少を少しでもおさえるため、女性やお年寄りの方が働きやすくなるようにする取り組みが行われています。

ひろみさん：わたしのお母さんも、わたしが小さいころは家にいて家事などをしていましたが、3年生になってから外で働くようになりました。

先生：グラフ3からわかるように、女性で働く人の数の年代別の割合も、時代とともに変わっているのですよ。

グラフ3 日本の女性で働く人の年代別の変化



(各年1月時点)

(総務省資料により作成)

(問4)

1970年、1990年、2015年を比べたとき、日本の女性で働く人の年代別の割合はどのように変化しましたか。グラフ3の25才以上44才以下(A)か65才以上(B)のどちらかを選び、数値をあげてその持ちょうを書きなさい。割合は、小数第三位を四捨五入して小数第二位まで求め、百分率(%)で表しなさい。